

株式会社オーエイ 産学連携が 技術と人間性を高める!

取材・文 古賀千根



家庭のキッチンでよく見られる換気扇フード。このステンレスをはじめ、金属の薄板を曲げ、接合部を高熱で溶かして継ぎ合わせ、塗装し、一貫生産しているのが株式会社オーエイです。当社は中小企業では珍しい、民間企業と大学が連携をして研究開発や事業を行う「産学連携」に取り組む、成果を出していました。

大学との連携

青山学院大学の松本俊之教授との出会いは2004年。ちょうど、社内改革をすべく、『カイゼン活動』を取り入れようと考えていたところでした。カイゼン活動とは、製造現場で日常的な努力を積み重ねて原価を削減する活動のことをいいます。知人から「カイゼン活動により会社が変わった」という話を聞き、自社



産学連携の成果である学生の論文。

にマッチするやり方を教えてくれる人はいないかと探していました。さまざまなカイゼン活動の中に、IE（インダストリアル・エンジニアリング）という手法があります。IEとは、人が行う作業方法・作業時間・細かい動作などのさまざまな作業をいかに分析するかという手法です。こちらを研究している松本教授は、「人がIEを通して働く力・考える力を身につけることで、夢を実現し、幸せになる」という考えを根底に持っていました。そもそも、導入の目的を「自立した社員を育てる社員教育」と考えていた久保誠代表取締役社長とこの考え方が一致し、松本教授との付き合いが始まりました。



「I・E」の関係。自社ではできない高度な分析を学生がしてくれる代わりに、学生にとっては、当社に機会を提供してもらうことで、机上の研究ではなく現実的

みんなが自分で考える職場

な調査ができるようになります。また大学指導のもと、カイゼン活動のレベルアップとして、ステンレスでパイオリンを製作するプロジェクトを実施しました。複雑な形状をしたパイオリンを製作するには、高い技術を要します。これまでの金型加工・曲げ加工・溶接加工に加えて、新たに研磨技術の習得が必要になってきます。全社一丸となって取り組み、板金加工の総合力を競う『優秀板金製品技能フェア』で技能賞を受賞しました。こうして、大学との連携により、社員が同じ目標に向かって、「コミュニケーション」を取り、技術を高めるようになった結果、当社は新しく生まれ変わりました。

IEを導入したことで、自分で考える姿勢が身につけてきました。「つまらないことでもいい。右にあるものを左に動かすだけでもカイゼンになるんだよ」と社員に投げかけた結果、一年間で200、300件ものカイゼン提案が提出されるようになりました。一ヶ月に一回、賞状と金一封で効果の大きい改善を行ったチームを表彰。さらには一年間の中で、優秀な改善を行った個人への表彰もします。このような取り組みが社員のやる気を促しているようです。

IEを大学と連携して取り組むことで、自分で考えて問題を解決する力が身につけてきています。今では、目標を掲げればみずから動く「自立した社員」が育っているそうです。仕事だけではありません。「人生においても、壁にぶち当たったときに人のせいにするのではなく、どれだけ自分で解決策を見出せるかで道が開けるかどうかが決まる。解決力を身につけることで自由になるのだ。」と久保社

働き方をみんなで作る

長は言います。IE導入は、「人生を自由に生きることにもつながっているのです。」

自分で考える風土ができあがっている当社では、働き方についても意見を出し合いながら自分たちでつくり上げていきます。仕事と子育ての両立を支援する体制が整っている企業として『かながわ子育て応援団』に認証・登録され、働きやすい職場環境作りに取り組んでいます。例えば、子ども出生時に休暇を取得できる制度や、3歳

以上小学生未満の子を持つ社員を対象とする短時間勤務制度を導入しています。また、社員参画によるワークライフバランス委員会を設置し今後は、ますます社員の目標でつくる「仕事もプライベートも両立できる職場環境」が整っていくようです。

今後10年間で、社員を70名規模にまで増やし、事業を拡大していく計画を立てています。雇用においては若い世代や女性を積極的に取り入れていきたいと考えています。さらなる飛躍を目指すべく、社員の人間性教育をし、技術を高めて、みんなで働きやすい職場環境づくりをしているのです。



優秀カイゼン提案。社員のやる気が見えます。



株式会社オーエイ
神奈川県相模原市中央区田名 3039-16
TEL 042-762-4021 FAX 042-762-4027
http://www.oei.co.jp/